



令和4年10月27日
南彩農業協同組合

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

J Aグループでは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

【J A南彩の経営理念】

J A南彩は地域振興を通じて「食」と「農」と「環境」を守り、地域社会の発展に貢献する事業活動を展開します。

【J A南彩のロゴマーク】

J A南彩のロゴマークは「N A N S A I」から「N」「S」の文字を組み合わせたもので表現し、next stageへという意味が込められています。またキャッチコピー「地域に寄り添い 未来に繋ごう」では多くの地域の方の身近な存在になりたい、若い人たちと農業を繋いでいきたいという想いが込められています。

1. お客さまへの最適な商品提供

- (1) お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。【原則2 本文および(注)、原則3 (注)、原則6 本文および(注2、3)】

【主な取組み】

- ①当組合で採用している「J Aバンクセレクトファンド」はリスクを抑えて中・長期的な目線でお客様の資産を育てる「投資」を重視した商品です。
- ②「J Aバンクセレクトファンド」は長期投資に適していることに加え、運用状況が良好であること、手数料水準が良心的であること等の基準で選定しており、特定の運用会社に偏った商品ではございません。
- ③当組合では若年層でもご利用しやすい各種税制優遇制度（NISA、つみたてNISA、iDeCo）の取扱いをしており、大切な資産を育てるお手伝いをいたします。

2. お客さま本位のご提案と情報提供

- (1) お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客さまにふさわしい商品をご提案いたします。【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文および（注 1～5）、原則 6 本文および（注 1、2、4、5）】

【主な取組み】

- ①お客さま一人ひとりと対話し「資産の色分け（つかう・ためる・ふやす・そなえる）」を一緒に考え、総合事業の幅広い提案ができるという強みを活かし、投資信託に限定しないニーズに添った商品をご提案いたします。
- ②市場環境や運用状況等を踏まえた継続的なアフターフォローを行い、当組合で採用している「月刊マーケットレター」や運用会社のレポート等を活用しながら、長期的な視点による資産形成・運用にも配慮し、資産内容の見直しなどのお客さまのご意向に沿った対応をいたします。

- (2) お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。【原則 4、原則 5 本文および（注 1～5）、原則 6 本文および（注 1、2、4、5）】

【主な取組み】

- ①ご提案させていただく金融商品について、各商品の販売用資料を用いて具体的に説明するほか、当組合で採用している「J Aバンクセレクトファンド」を一覧化した「セレクトファンドマップ」も活用して、提案商品以外の商品と比較を丁寧に説明させていただくなど、必要な情報は十分にご提供します。
- ②事実と異なる説明はもとより、不確実な事項について断定的な説明を行うなど、お客さまの誤解を招く恐れがある情報の提供をすることはありません。
- ③運用会社と連携した資産形成・運用セミナーを開催することで、お客さまの投資判断に資するような情報を提供するとともに、お客さまの金融リテラシー向上に寄与することに努めます。

- (3) お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。【原則 4、原則 5 本文および（注 1～5）、原則 6 本文および（注 1、2、4、5）】

【主な取組み】

- ①お客さまからいただく手数料や報酬については、アドバイスやアフターフォロー、運用コストなどのサービスを勘案し、適切な水準で設定しています。
- ②お客さまにご負担いただく手数料や報酬について、商品ごとに比較し、お客さまの投資判断に資するよう、わかりやすく丁寧に説明いたします。

3. 利益相反の適切な管理

- (1) お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。【原則 3 本文および（注）】

【主な取組み】

- ① J Aグループでは「持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現」という共通の理念のもと、グループ会社や運用会社と理念実現に向けて取組んでおります。利益相反の発生する可能性がある取引につきましては、利益相反管理方針に基づき適切に管理を行うとともに、月次・年次の定期的モニタリングにより適切な管理を行います。
- ②お客さまのご意向に反して、高い手数料を得られる金融商品を不当に提案・販売する等により、お客さまの利益を害することがないよう、お客さまとの利益が相反する可能性を正確に把握し、適切に管理・検証する態勢を整備しているとともに、当組合役職員についても定期的な研修・勉強会の開催により、コンプライアンス意識向上・法令遵守に努めます。

4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- (1) 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】

【主な取組み】

- ①お客さまに最適な商品を提案するために、当組合では農林中央金庫主導の「資産形成サポートプログラム」を導入し、各担当者向けに研修会を開催し、管理体制・推進体制を整備しました。また、推進担当者はL P C（ライフプランコンサルタント）と位置づけ、お客さまの様々な金融商品のニーズにお応えします。
- ② J Aバンク独自の動画サイトを活用して情勢の把握や商品知識習得を推奨するとともに、系統機関や運用会社等による研修会の実施により、継続的な人材育成に努めます。

(※) 上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」(2021年1月改訂)との対応を示しています。